



地域研究集会

第 23 回広島湾研究集会 カキ, アサリの持続的な生産に向けて

日 時 : 2025 年 9 月 3 日 (水) 13 : 00 ~ 17 : 00
場 所 : 合人社ウエンディひと・まちプラザ (広島市まちづくり市民交流プラザ)
北館 6 階「マルチメディアスタジオ」 広島県広島市中区袋町 6-36
(ハイブリッド形式)
共 催 : (国研) 水産研究・教育機構水産技術研究所, 広島大学大学院統合生命科学研究科, 広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター
後 援 : 流域圏環境再生センター
コンピナー : 阿保勝之 (水産機構技術研)・富山 毅 (広大院統合生命科)・戸井真一郎 (広島総研水海技セ)・山本民次 (流域圏環境再生セ)
問合せ先 : abo_katsuyuki81@fra.go.jp (阿保)
参加登録 : <https://forms.office.com/r/sbbRZRRfrB>
締切 : 2025 年 8 月 26 日 (火)



挨拶 : 伊藤進一 (一般社団法人水産海洋学会会長) 13 : 00 ~ 13 : 05
趣旨説明 : 阿保勝之 (水産機構技術研) 13 : 05 ~ 13 : 10

話 題

- 座長 : 阿保勝之 (水産機構技術研)
1. 新技術導入による餌料環境モニタリングの高度化
~マガキ天然採苗の安定化を目指して~ 13 : 10 ~ 13 : 40
岡村知海, 松原 賢 (水産機構技術研)
 2. マガキ浮遊幼生の鉛直分布と輸送シミュレーション 13 : 40 ~ 14 : 10
鬼塚 剛 (水産機構技術研)
 3. 漁場環境観測データを活用した養殖マガキの成長予測 14 : 10 ~ 14 : 40
高辻英之 (広島総研水海技セ)
- 休 憩 — 14 : 40 ~ 15 : 00
- 座長 : 戸井真一郎 (広島総研水海技セ)
4. 干潟保全の取組「松永湾今昔物語」 15 : 00 ~ 15 : 30
~尾道産アサリの再生活動について~
川崎育造 (クニヒロ株式会社)
 5. アサリ施肥試験についてモデル解析して分かったこと 15 : 30 ~ 16 : 00
山本民次 (流域圏環境再生セ)
- 休 憩 — 16 : 00 ~ 16 : 10
- 総合討論** 16 : 10 ~ 17 : 00
座 長 : 山本民次 (流域圏環境再生セ), 富山 毅 (広大院統合生命科)



開催趣旨：近年の気候変動や貧栄養化などの環境変化により、広島湾におけるマガキ養殖やアサリ漁業の生産が不安定になっている。マガキ養殖では採苗不調や成長不良が発生し、アサリについても成長不良や斃死が問題となっていることから、それらの原因究明とともに対策が求められている。本研究会では、マガキ、アサリの持続的な生産に向けた試験研究や取り組みについて情報共有を行い、現状の理解を深めたい。前半では、マガキ養殖において、採苗不調対策として実施している餌料環境モニタリングや幼生輸送シミュレーションに関する研究成果や、養殖カキの成長予測について最新の知見を紹介する。後半では、アサリ資源再生に向けた干潟保全の取り組み事例を紹介するとともに、アサリの成長促進のための施肥効果についての科学的な知見を報告する。これらの情報を共有することで、広島湾におけるマガキ養殖やアサリ漁業の課題や今後の在り方について議論する場としたい。